

# 図書館だより

編集・発行:

大阪千代田短期大学



にふれ、好奇心の芽を育て、世界を見る目を広げてほしいと願っています。

総合コミュニケーション学科 教授

図書館長 池田知隆

## 図書館長・池田知隆先生より学生の皆さんへ

「図書館は学校の心臓部」。長く新聞記者として学校の教育について考えてきた



とき、いつもこんな言葉が頭の片隅にありました。図書館は、未知の世界へと誘い、わくわくドキドキと知的な興奮を呼び起こし、人々を生き生きとさせてくれるからです。

私が図書館の世界に深く魅せられたのは15歳のときでした。ひよんなことから九州の片田舎に創設されたばかりの国立工業高等専門学校で電気工学科に進学しました。「高校でも、大学でもない」教育機関で、15歳から20歳までの5年間を過ごすところです。その図書室の受付にいつもデンと座っていた変な国語教師との出会いがその始まりです。

彼の国語の授業は、文庫本をいっしょに読み、試験はその感想文を書くこと。やがて本の楽しさを知り、私はいつしか技術者志望から離れ、5年後、より広い世界を知りたいと大学に進学して政治学を学ぶことを決めたのです。

新聞記者の仕事は、疑問に思うことをたくさんの人に教えてもらい、それをまた人に伝えること。18年前から「図書館を使った”調べる学習”賞コンクール」(図書館振興財団主催)の審査委員をしていますが、作品を通して子供たちから「おじさんは、ちゃんと調べて仕事しているの」といつも教えられています。みなさんにも図書館の世界